

日本の遺跡 を調べる

遺跡の発掘は考古学の基本的な手段です。

遺跡には記録や情報が満ちあふれています。

図書館で発掘の成果に触れてみませんか。



パスファインダーとは、あるトピックスについて調べるときに
役立つ図書やツールを紹介した「道しるべ」です。

キーワードを見つける

遺跡について様々なキーワードを見つけることが、調べ方のコツです。

例：考古学、発掘、古墳、埴輪、土偶、土器、銅鐸、金印、
邪馬台国、縄文、弥生、平城京、吉野ヶ里、三内丸山

辞書・事典で調べる

遺跡について調べる場合、百科事典から手がかりを求めることも有効ですが、歴史関係の専門事典のほうが詳しい解説をしています。(図書の例 ()内は請求記号)

『縄文時代研究事典』

戸沢充則 編 東京堂出版 1994年 (R210.25 館内利用)
※用語編・土器形式編・遺跡編の三部構成です。全 2200
余項目・図版約 1500 点を収録しています。

『歴史考古学大辞典』

小野正敏 編 吉川弘文館 2007年 (R210.03 館内利用)
※歴史学・考古学・民俗学・美術史・建築史など、幅広い分
野から 3270 項目を収録しています。

『事典墓の考古学』

土生田純之 編 吉川弘文館 2013年 (R210.02 館内利用)
※日本における墓制・葬制の理解に不可欠なテーマを厳選し、
解説した事典です。

テーマの書架を調べる

図書館の本は、テーマごとに分類されて並んでいます。請
求記号の数字の書架から資料を探すことができます。

例： 202.5 考古学 210 日本史 210.3 古代日本

『日本考古学文献ガイド』

坂詰秀一 著 ニューサイエンス社 2010年 (202.5)

『王権誕生』

寺沢薫 著 講談社 2000年 (210)

『邪馬台国を知る事典』

武光 誠 編 東京堂出版 1999年 (210.3)

『国宝高松塚古墳壁画』

文化庁 監修 中央公論美術出版 2004年 (210.3)

『三角縁神獣鏡研究事典』

下垣仁志 著 吉川弘文館 2010年 (210.32)

検索機で調べる

館内の利用者用検索機（OPAC）で図書館の所蔵資料を調べることができます。正確な書名や著者がわからなくてもキーワードで検索できます。（図書例）

『人物埴輪の文化史的研究』

塚田良道 著 雄山閣 2007年（210.32）

『壁画古墳の研究』

網干善教 著 学生社 2006年（210.32）

『東日本最大級の埴輪工房・生出塚埴輪窯』

高田大輔 著 新泉社 2010年（210.32）

こんな本もあります

『新日本考古学小辞典』

江坂輝彌 編 ニューサイエンス社 2005年（R210.02 館内利用）

※日本考古学協会の考古学検定のテキストにもなっています。

『発掘調査のてびき』集落遺跡発掘編、整理・報告書編

文化庁文化財部記念物課監修 同成社 2010年（210.02）

※文化庁監修の全2冊からなる発掘調査のマニュアルです。

『考古学者はどう生きたか』

春成秀爾 著 学生社 2013年（210.02）

※日本の考古学者たちの思想と行動を紹介しています。

『発掘された日本列島 2014』

文化庁 編 朝日新聞出版 2014年（210.02）

※前年度の発掘調査から最新の研究成果を紹介しています。

『埼玉の古墳』全5冊

塩野博 著 さきたま出版会 2004年（S213.4）

※埼玉県内全ての古墳を、地域別に分類整理しています。

『楽器の考古学』

山田光洋 著 同成社 1998年（763）

※氷川神社東遺跡出土の世界最古の口琴の記述があります。

「断碑」（『或る「小倉日記」伝』所収）

松本清張 著 新潮社 2004年（B913.6）

※唐子鍵遺跡を発掘した森本六爾をモデルにした小説です。

発掘調査報告書

発掘調査を担当する埋蔵文化財行政機関や自治体などによって、発掘調査報告書が刊行されています。

『大宮市文化財調査報告 第19集』

大宮市教育委員会社会教育課 編 1985年 (S213.4)

※亀形土製品が出土した東北原遺跡の報告書です。

『浦和市東部遺跡群発掘調査報告書 第1集』

浦和市教育委員会 1982年 (S213.4 館内利用)

※土偶装飾土器が出土した馬場小室山遺跡の報告書です。

新聞記事を調べる

オンラインデータベースで、さがしているテーマの新聞記事を検索して全文を読むことができます。(記事の例)

●聞蔵Ⅱビジュアル (朝日新聞 1945年～ 端末3番)

「法隆寺級の壁画発見」1972年3月27日朝刊1頁

※明日香村の高松塚古墳壁画発見の新聞記事です。

●日経テレコン21 (日経新聞 1981年～ 端末4番)

「国内最古漆の採取跡」2014年5月5日朝刊38頁

※さいたま市の南鴻沼遺跡の漆の木発見の新聞記事です。

雑誌記事を調べる

●国立国会図書館サーチ <http://iss.ndl.go.jp/>

様々な機関の図書や雑誌記事コンテンツを統合的に検索できます。

「埼玉縣真福寺貝塚発見の耳栓」甲野勇

人類学雑誌 55巻10号 1940年 456～463頁

「キトラ古墳壁画の保存処置と化学」川野邊渉

化学と教育 55巻2号 2007年 56～59頁

●国立国会図書館デジタル化資料送信サービス

国立国会図書館がデジタル化した図書、雑誌、博士論文約

131万点を閲覧することができます。(端末15)

「吉野ヶ里と邪馬台国」西谷正

図書館学 1989年10月号 20～27頁